

2015年度(平成27年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

<学校用>

校番(27)番 福山市立 駅家南 中学校

1 授業の現状

・教師から一方的に教え込む「講義調」の授業にはなっていない。教えたことをもとに思考させる場面を意識した授業内容を構成しようとしている。
 ・班を活用しての学習の定着を図る取組が十分とはいえない。

転換

2 めざす授業の姿

しっかり教えることで知識を習得させ、習得した知識を活用して、じっくり考えさせ、はっきり発表できる授業
 ・授業規律が確立している
 ・リーダーや班長を中心に、班内での「教え合い」「話し合い」ができる

3 めざす授業に向けた取組の具体

<p>4月からの取組 (授業システムに基づいた授業の展開) (1)授業規律の確立 ○「わかりました。」の意思表示をさせる (2)班内での「教え合い」「話し合い」 ○班活動を活用して、理解できているか確認する。</p>	<p>8月末の状況 (生徒による授業アンケートより) ・「授業中意思表示をしています」と答えた生徒の割合(82%) ・「わかったかどうかを班ごとに確認しています」と答えた生徒の割合(73%) ・「先生の説明はよくわかる」と答えた生徒の割合(85%)</p>	<p>9月からの取組 (基礎の定着を図る) ・授業で学んだことの定着に向け、授業の中で必ず1回は学習内容を覚えさせる時間を設けるか、確認テストを行う。</p>	<p>12月末の状況 (生徒による授業アンケートより) ・「授業の振り返りを書いています、あるいは確認テストをしています。」質問に対して (1)肯定的評価をした生徒の割合 (78.8%⇒75.8%) (2)7月の生徒アンケートより向上した学級の割合 (44.5%)</p>	<p>1月からの取組 (基礎の定着を図る：継続) ・授業で学んだことの定着に向け、授業の中で必ず1回は学習内容を覚えさせる時間を設けるか、確認テストを行う。 (説明させることを意識した授業の展開) ・発表や話し合いの時「理由」や「根拠」を述べさせる。</p>	<p>2月末の状況 (生徒による授業アンケートより) ・「授業中に前時の復習や授業内容の確認をしていますか。」の質問に肯定的評価の割合(92%) ・「授業で自分の考えとその理由を明らかにして発表していますか。」の質問に対する肯定的評価の割合(61%)</p>
--	---	--	---	--	---

4 取組の結果

数値は2015年(H27年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%)

	A 問題	B 問題
国語	76.2(-0.3)	61.3(-5.7)
数学	58.7(-5.9)	35.4(-7.3)
理科	46.5(-5.7)	

()は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査(%)

	タイプ I	タイプ II
国語	72.1(-3.6)	66.8(-2.0)
数学	59.0(-15.2)	45.9(-11.3)
理科	49.5(-1.5)	43.6(-5.5)
英語	54.4(-15.8)	40.8(-19.8)

体力・運動能力調査 (網掛は県平均以上: 県平均は、11月公表予定)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	シヤトルン	50m 走	立ち幅とび	ボール投げ	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	シヤトルン	50m 走	立ち幅とび	ボール投げ
1年	23.08	24.47	40.27	45.50	66.71	8.63	170.39	15.60	19.39	18.24	42.95	41.69	47.49	8.87	158.75	10.98	
2年	28.92	25.65	41.27	49.67	85.00	7.69	191.43	18.80	22.73	20.47	43.69	42.66	54.53	8.74	160.16	12.31	
3年	33.55	29.24	45.40	43.91	90.03	7.37	195.00	20.50	23.90	23.55	44.77	44.77	58.56	8.55	176.84	13.75	

* 空欄には、20m シヤトルンか持久走のいずれかを記入

「基礎・基本」定着状況調査 (生徒質問紙調査)(%)

内 容	国語		数学		理科		英語	
	よく	やや	よく	やや	よく	やや	よく	やや
授業が分かる	25.6	49.6	27.2	34.4	48.0	36.0	31.2	32.8
学校が楽しい	84.8							